

成果目標シート

研究課題名	世界の台所を目指すタイにおける家畜生産と食品安全に関する新技術導入による畜産革命の推進
研究代表者名 (所属機関)	三澤尚明 (宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター)
研究期間	H31採択(平成32年4月1日～平成37年3月31日)
相手国名／主要相手国研究機関	タイ王国/タイ農業共同組合省畜産開発局、口蹄疫センター、タイ動物衛生研究所、チュラロンコン大学、マヒドン大学、チェンマイ大学
関連するSDGs	SDG2:飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する SDG12: 畜産食品の病原微生物除去技術を開発し、安全かつ高付加価値の高い畜産製品を供給する SDG17:持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

成果の波及効果

日本政府、社会、産業への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・食料安全保障 ・日本の畜産業防衛 ・安定的かつ持続可能な家畜生産技術の普及
科学技術の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜防疫のための新規診断方法の開発 ・家畜感染症ビッグデータを活かした数理モデルとそれに基づくシミュレーターの開発と先回り防疫 ・畜産食品の新規病原微生物制御技術の開発・普及
知財の獲得、国際標準化の推進、遺伝資源へのアクセス等	<ul style="list-style-type: none"> ・網羅的複合診断システムの開発と国際標準化 ・食肉の新規病原体制御法の開発 ・越境性家畜感染症の防疫モデル ・病原体バイオリソースの蓄積とゲノム情報の集積
世界で活躍できる日本人人材の育成	国内外の政策リーダー、FAO、WHO、OIE、JICA等の国際機関でグローバルに活躍できる統括専門家を輩出
技術及び人的ネットワーク	タイ国及びASEANにおける国際防疫コンソーシアムの構築と異分野融合型研究の展開
成果物(提言書、論文、プログラム、マニュアル、データなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・学術論文、プロシーディング ・重要家畜感染症防疫指針・マニュアル ・ビジュアル教材

上位目標

タイ国モデル地域における畜産製品の生産量と輸出量が増加する

→畜産資源の世界的流通の活性化
「ASEAN諸国から世界にむけた畜産資源の安定供給」

タイにおける新たな家畜防疫及び食肉処理システムとして提言
ASEAN周辺諸国も含めた公衆衛生レベルの向上=One Health

プロジェクト目標

タイ国における安定的かつ持続可能な家畜生産を促進するための統合的な防疫技術の開発により家畜生産基盤が整備される

